

平成30年度第1回喜多方市地域公共交通会議 会議録

1 開催日時 平成30年6月28日（木）午後3時30分～午後5時00分

2 開催場所 喜多方プラザ文化センター 小ホール

3 出席した委員 25名

津田 弘幸 委員	庄司 一雄 委員	鈴木 弘之 委員	渡部 庄司 委員
渡部 幸博 委員	鈴木 敏生 委員	星 隆 委員	遠藤 章 委員
渡邊 仁 委員	宍澤 喜久江 委員	五十嵐 清 委員	和田 典久 委員
佐藤 義晴 委員	江花 一成 委員	木須 行孝 委員	五十嵐 智 委員
牛渡 朋幸 委員	穴澤 竜太 委員	原 弘通 委員	佐藤 潤一 委員
風間 常義 委員	鈴木 富雄 委員	遠藤 紀雄 委員	佐藤 洋 委員
坂口 伸 委員			

4 欠席した委員 9名

遠藤 忠一 委員	澤井 淳 委員	今井 誠 委員	宍戸 紳一郎 委員
星 竹昭 委員	薮内 昭子 委員	荒明 澄雄 委員	手代木 洋一 委員
渡部 和昭 委員			

5 説明のため出席した者

事務局長（生活防災課長）	五十嵐 慎
事務局（生活防災課長補佐）	小荒井 浩
同（生活防災課市民生活係長）	渡部 洋一

※オブザーバーとして、関係市町村公共交通担当者3名、各総合支所住民課長4名
が出席

6 配布資料

- ・平成30年度第1回喜多方市地域公共交通会議次第
- ・資料1 平成29年度事業経過報告について
- ・資料2 平成29年度歳入歳出決算について
- ・資料3 平成30年度喜多方市地域公共交通会議補正予算（第1号）について
- ・資料4 喜多方市地域公共交通再編実施計画（骨子案）について
- ・別紙資料 喜多方市地域公共交通再編実施計画（骨子案）

7 会議の経過

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ（副会長代読）
- (3) 委員紹介
- (4) 報告

会長である遠藤忠一委員が欠席のため、規約第8条第1項の規定により、副会長である木須行孝委員が議長となり開議した。

（午後3時40分）

○平成 29 年度事業経過報告について

- ・議長が事務局に説明を求めた。
- ・事務局が資料 1 により報告を行った。

○平成 29 年度歳入歳出決算について

- ・議長が事務局に説明を求めた。
- ・事務局が資料 2 により報告を行った。
- ・監事より監査報告の際、費用の削減について、次の提案を受けた。
(監 事) ①再編実施計画策定により「最小の経費で最大の効果」をあげること。
②「持続可能な公共交通」の実現にむけて様々な方法を検討すること。
- ・議長が意見・質疑を求めたところ、次の意見があった。
(委 員) 「住民グループインタビュー調査」の目的、出された意見等の詳細は。
(事務局) 予約型乗合交通利用者や運転免許証返納者を対象に、10 人程度でのグループを作り、予約型乗合交通をはじめとする公共交通に関して、直接意見や要望を聞き取り、その内容を再編実施計画策定での施策に反映させることを目的とした調査事業の一つ。出された意見としては「予約に關すること」や「運行ダイヤの改正」について多くの意見や要望が出された。
- ・議長が意見・質疑を求めたが、意見・質疑はなかった。

(5) 議題

○平成 30 年度喜多方市地域公共交通会議補正予算（第 1 号）について

- ・議長が事務局に説明を求めた。
- ・事務局が資料 3 により説明を行った。
- ・予算額に誤りがあったため、事務局より訂正を行い、修正したものを後日送付することとした。
- ・議長が意見・質疑を求めたところ、意見・質疑はなく、承認された。

○喜多方市地域公共交通再編実施計画（骨子案）について

- ・議長が事務局に説明を求めた。
- ・事務局が資料 4 と別紙資料により説明を行った。
- ・議長が意見・質疑を求めたところ、次の意見があった。
(委 員) 今回の骨子案の基本的な考え方を聞かせてほしい。まちなか循環線は月～土の運行、喜多方地区は月～金の運行、塩川地区は月・火・金の運行となっているが、どのような形で運行日を設定したのか。
(事務局) まちなか循環線の運行日については、現在の予約型乗合交通が市街地内を移動する利用ができない為、市街地内における通院や買い物の移動手段の確保として月～金の運行、並びに、病院については土曜日も開院している為、土曜日も追加で運行日を設定した。土曜日については、毎週の運行か隔週の運行かは今後検討していく。
(委 員) 観光の対応についてはどのように考えているのか。
(事務局) 観光については、現在、ぶらりん号が運行しているが、観光とは別に日常生活の足として「まちなか循環線」を運行したいと考えている。予約型乗合交通については、現在、利用者数を踏まえ、地域内に路線バスも運行している地域については限定的に運行している。一方、グループインタビュー調査結果によると、平日は毎日運行して欲しいという要望もあったことから、試算しながら、全ての地区で平日運行が

- (委 員) 出来る様に運行事業者と協議を重ねていきたいと考えている。
- (事務局) 予約型乗合交通における予約方法について、現在、タクシー配車アプリが全国的に広まっている。予約時間を短縮し、利用率を高めるサービスを活用するという考えはあるのか。
- (委 員) 予約方法については、協議中であり当日予約はまだ提案出来る段階ではない。しかしながら、網形成計画でも予約方法の見直しについて明記しているので、予約受付センターや交通事業者と協議を重ねていきたいと考えている。方法の一つとして予約アプリの実用性についても検討したい。
- (委 員) 今回の骨子案では運行内容を拡大する趣旨かと思うが、この骨子案の通りに再編を進めると、運行経費が増加すると思う。事業全体の経費についてはどうに考えているのか。
- (事務局) 今回の公共交通会議において示した骨子案について、委員の皆様の了解をいただければ、早急に経費に関しても試算をしていきたいと考えている。現在、予約型乗合交通の利用者も減少している中で、利用者の要望は多い為、現在、運行している予約型乗合交通についても精査し、試算しながら実現できる再編内容を検討していく。また、福島県では「ふくしま地域公共交通強化支援事業」を実施しており、二次交通対策支援の補助金などもあるようなので、活用条件を満たす再編内容であれば積極的に活用していきたいと考えている。
- (委 員) 利用者の内容で、通院・通学のニーズや内容について教えてほしい。
- (事務局) 利用状況についてですが、予約型乗合交通での遠距離通学利用者が平成29年度実績で「11,562人」である。今後、遠距離通学利用者については若干増減すると思うが、今後も予約型乗合交通を利用するとと思われる。また、市街地内の通院については、徒歩や予約型乗合交通を利用せずに通院している人もいると思うが、実数については把握出来ていない。
- (委 員) 通学者について移動手段は必要不可欠であるので、今後は利用者の人数把握もお願いしたい。
- (事務局) 利用人数把握も含めて、今後検討していく。
- (委 員) 経費に関連して、運転手の人材不足が非常に問題になっている。私事であるが、代行運転をお願いしても1時間以上かかる場合もある。現在、山間地を中心にシェアリングエコノミーが実験的に展開されているようだが、喜多方市の山間地に対してシェアリングエコノミー導入の考えはあるか。
- (事務局) 現在、各地に予約型乗合交通を導入しており、まずは予約型乗合交通についての再編を進めて参りたいと考えている。再編した後でも利用者の減少に歯止めがかからないような場合については、新たな代替手段の導入を検討する事は必要だと考えている。今すぐ導入は難しいと思うので、検討及び研究を重ねながら、まずは予約型乗合交通の再編を進めていきたいと考えている。
- (委 員) 予約型乗合交通の場合、予約センターの果たす役割は大きいと考えている。タクシー会社としても、利用者に寄り添ったサービスを提供すれば、安心感を持ってリピーターになってもらえる可能性がある。こうした意味においても、予約センターで安心感を与える事が出来れば、更なる利用に繋がるのではないかと思うことから、公共交通会議に事業者が参加しているので、現場側の意見を聞いてもらう事も意味があると思う。そのため、予約センターの代表者のこの場へ参加してもらいたいと思うが、いかがか。
- (事務局) 委員として参加していただく形だと、規約の変更が必要等なってくる

ため、総合支所や関係市町村の方と同じように「オブザーバー」として参加していただく形を検討していきたい。

- ・議長がさらに意見・質疑を求めたところ、意見・質疑はなく、承認された。

(6) その他

- ・議長が意見・質疑を求めたところ、事務局より県の事業である「あいづ二次交通支援強化事業」についての報告があり、「磐梯東都バス」が7月1日より「猪苗代駅～喜多方駅」を結ぶ路線を運行する内容を説明した。
- ・議長がさらに意見・質疑を求めたところ、意見・質疑はなかった。

○議長が協議の終了を宣言した。(午後4時55分)

(7) 閉会 (午後5時00分)